

第2期千葉市国民健康保険データヘルス計画(H30～R5年度) 令和5年度 個別保健事業評価(概要)

報告事項1

1. 令和5年度 特定健康診査・特定保健指導の実施状況 (R5年度の実績 R6.6月時点の速報値、R6.11月確定予定)

図1 特定健診受診率・保健指導実施率の推移

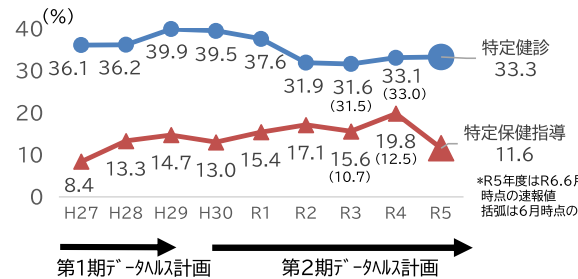


表1 H30～R5年度 目標と実績

		H30	R1	R2	R3	R4	R5
特定健診受診率(%)	目標	39.5	41.0	42.5	44.0	45.5	47.0
	実績	39.5	37.6	31.9	31.6 (31.5)	33.1 (33.0)	(33.3)
保健指導実施率(%)	目標	16.5	18.0	19.5	21.0	22.5	24.0
	実績	13.0	15.4	17.1	15.6 (10.7)	19.8 (12.5)	(11.6)

表2 R4年度 政令市・県内市町村での順位

	政令市 20		県内市町村 54	
	順位	平均	順位	平均
特定健診受診率	5 (↑)	29.5%	46 (↓)	38.1%
保健指導実施率	7 (↑)	14.3%	31 (↑)	24.7%

表3 R5年度 実施内容と実施状況

	実施内容	R5年度の状況
健診	メタリックシンドローム(内臓脂肪症候群)のリスクに着目した、生活習慣病を予防するための健診。40～74歳が対象。	対象者数: 110,326人 受診者数: 36,737人
	特定健診の結果、生活習慣改善の必要があるとされた方に実施する3～6か月間の保健指導。	対象者数: 4,018人 終了者数: 467人
保健指導	動機付け支援	対象者数: 3,167人 終了者数: 403人
	積極的支援	対象者数: 851人 終了者数: 64人

*終了者: R5年度特定健診受診者のうち特定保健指導を終了した者とR4年度特定健診受診者のうちR5.11月以降に特定保健指導を終了した者の合計

2. データヘルス計画における個別保健事業 指標ごとの実績・評価 【達成状況】○: 目標達成 △: 目標未達だが、前年度より改善または同値 ×: 目標未達、前年度より悪化

目標		事業(対策)	R5年度事業概要 (R6.6時点の実績)	評価指標		H30 実績	R1 実績	R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 実績	(R6.6月時点の実施)*括弧は同時期の実績		
												目標	達成状況	評価
1	特定健康診査の受診率の向上	1 受診勧奨	1 はがきによる勧奨(6・10月) 133,375件 健診受診歴により対象者を分類。対象者別に勧奨通知を送付。 2 SMSによる勧奨(7～11月) 30,428件 3 電話による勧奨(9月) 702件 (状況確認できた件数313件) 国保連合会の受診率向上支援事業を活用。40～59歳の不定期受診者へ電話勧奨を実施 4 39歳へはがきによる勧奨(R6.3月) 1,548件 次年度健診の対象となる39歳へ健診の啓発を実施。 5 お知らせサービス(LINE)(8・10・12月) 2,701件	①40～64歳の受診率(%)	26.4	24.7	20.5	20.4	22.1 (21.6)	(22.1)	30.5	△	・新型コロナの影響により令和2年度より中止していた受診勧奨業務委託の企画提案方式での実施を令和5年度より再開し、令和5年度はハガキの他、SMSによる勧奨を実施し、前年度同時期より受診率は増加している。 ⇒R6年度:継続実施。 今後も民間事業者のノウハウを活用する中で、国保途中加入者への勧奨や各月の受診者数をグラフ化し、おすすめの時期を記載するなど勧奨対象者や通知内容の工夫を行う。	
			②65～74歳の受診率(%)	48.0	45.9	39.2	39.0	40.9 (40.6)	(41.2)	54.3	△			
			③長期未受診者*1割合(%)	43.5	43.8	44.6	45.7	48.0 (48.0)	(51.9)	39.0	×			
		2 継続受診の促進	経年の健診結果を通知(10月) 1,541件 過去5年間の健診結果をグラフ化し、健康アドバイスを記載した通知を送付した。	④継続受診率*2(%)	76.9	72.1	69.4	74.8	82.4 (77.9)	(77.1)	78.0	×		
		3 健診データ取り込み	1 リーフレット・ポスター等による事業周知 2 過去の申請者へ申請書を送付(R5.11) 159件	⑤結果報告人数(人)	248	182	137	277	261	192	前年より増加	×		
2	特定保健指導の実施率の向上	1 利用勧奨	1 対象者へ通知・電話による利用勧奨を実施 1,340件 (千葉市 843件、委託事業者 497件)	⑥利用率(%)*3	動機付け支援	17.7	20.7	20.0	21.9	23.9 (22.8)	(22.8)	30.1	△	・ICT機器を活用した特定保健指導の委託をR4年度はモデル実施し、R5年度から本格実施した。通知や電話による勧奨を行い、定員60名を参加につなげることができた。新たな取組みを行ったが、前年度同時期と比較し特定保健指導の実施率はやや低下した。 ⇒R6年度:継続実施 ICT機器を活用した特定保健指導 定員 60人(R5)→90人(R6)
				積極的支援	12.2	13.3	13.5	14.3	15.8 (15.2)	(16.9)	24.6	△		
		2 (H28～積極) (R1～動機)	1 訪問・ZOOM等で保健指導を実施 終了者:154人 2 ICT機器(ウェアラブル端末)を活用し保健指導を実施 終了者:55人(定員60人、中断5人) 3 健診実施医療機関での保健指導 終了者:170人	⑦終了率(%)*4	動機付け支援	81.9	82.0	95.2	73.3	91.1 (59.2)	(55.8)	87.6	×	
				積極的支援	60.8	66.4	66.7	70.5	81.7 (58.4)	(44.4)	70.0	×		
		3 研修会の実施	・特定保健指導の従事者に対して、オンライン研修会を実施。 参加(アクセス数)87件	⑧実施率(%)	動機付け支援	14.5	16.9	19.0	16.9	21.8 (13.5)	(12.7)	26.4	×	
				積極的支援	7.4	8.8	9.0	10.1	12.9 (8.8)	(7.5)	11.8	×		
3	生活習慣病の重症化予防	1 受療勧奨と保健指導	・健診の結果、治療が必要な方へ受療勧奨を実施(通知・電話・訪問)更に、生活習慣病の重症化リスクが高い方([高血糖]HbA1c8.0%以上、[腎機能低下]eGFR45未満)は、最大2回勧奨を行い、勧奨を強化した。 指導実施者:843人、リスクが高い人:54人(再掲)	⑨指導後受療率(%)	全体	29.7	28.1	32.9	36.6	37.7 (39.1)	(28.1)	30.3	×	・前年度と比較し、指導後受療率は減少した。指導を複数回受けている人の方が、受診につながりにくく課題である。 ⇒R6年度:継続実施。
		(再掲) 重症リスクの高い方	-	-	62.5	35.7	71.9 (46.6)	(47.2)						
		2 糖尿病性腎症重症化予防	・人工透析移行防止のために、千葉市医師会と連携し、糖尿病性腎症の発症・重症化のリスクの高い方を対象に初年度に6か月間、2年目、3年目のフォローアップと併せて3年間の保健指導を実施。 R5年度:保健指導新規実施者 51人 修了者44人 ・R3、R4年度に開始した者へのフォローアップを実施。 R3年度開始の10人 R4年度開始の42人	⑩事業参加者の新規透析患者数(人)	-	0	1	0	1	0	透析に至らない	○	・保健指導実施者は、人工透析には至らなかった。 ⇒R6年度新規:100人実施予定。また、R4開始の32人及びR5開始の45人にフォローアップを実施予定。	

*特定健診受診率=受診者数/対象者数 *特定保健指導実施率=終了者/対象者 *1 長期未受診者割合=5年間健診を利用していない者の割合 *2 継続受診率=2年間連続して健診を受けた人の割合 *3 利用率=初回面接を受けた者/対象者 *4 終了率=終了者/初回面接を受けた者

【総括】○目標達成…1項目 △目標未達だが、前年度より改善または同値…4項目 ×目標未達、前年度より悪化…8項目

・特定健診の受診率は、新型コロナウイルス感染症の影響による受診控え等により低迷していたが、令和4年度から回復に転じ、令和5年度も前年同時期と比較して回復傾向にあるもののコロナ前の水準には戻っていない。勧奨対象者や通知内容の工夫など、効果的かつ効率的な勧奨方法を見直していく。

・特定保健指導の実施率は増加傾向であるが、10%台と低い状況である。ICT機器(ウェアラブル端末)を利用した保健指導など特定保健指導の利用につながる取り組みを引き続き実施していく。